

2023年9月12日

各 位

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号
会 社 名 S B I ホールディングス株式会社
(コード番号8473 東証プライム)
代 表 者 代表取締役 会長 兼 社長 北 尾 吉 孝
問 い 合 せ 先 常務執行役員 経理・財務担当 勝 地 英 之
電 話 番 号 0 3 - 6 2 2 9 - 0 1 0 0 (代 表)

世界有数の総合的オルタナティブ資産運用会社の KKR との 共同出資会社設立の基本合意に関するお知らせ

このたび、当社は、世界有数の総合的資産運用会社 KKR & Co. Inc. (本社：米国ニューヨーク、以下「KKR」) と共同で、日本において新たに資産運用会社を設立し、日本の投資家に対して KKR が開発し運用するオルタナティブ資産およびオルタナティブ戦略の提供を目指すことについて基本合意書を締結しましたので、お知らせいたします。

KKR は、オルタナティブ資産の運用のほか、キャピタル・マーケットや保険のソリューションを提供しており、プライベート・エクイティ、クレジット、不動産、インフラなど様々な資産クラスに投資するファンドの運用資産残高は約 5,190 億米ドル (約 74.9 兆円、2023 年 6 月末現在) に及びます。また、同社は革新的な運用戦略に基づき、投資先に対して様々な角度からきめ細やかな支援を提供することで、投資先の企業価値の向上とリターンの実現に繋げております。

日本の投資家は、これまでプライベート・マーケット資産への投資機会は限られておりましたが、設立予定の資産運用会社は、そのような資産への投資機会を提供することを目指しており、当社グループの SBI 証券や SBI 新生銀行、SBI マネープラザ、SBI 生命等や、当社と資本・業務提携をしている地方銀行などその他の地域金融機関を通じて、個人のお客様にも提供していく予定です。

世界各国が 2008 年 9 月のリーマン・ショック以降、長きにわたり続けてきた異次元緩和が減速し、金融引締めに移行してきていることにより、市場環境の不透明感が一層拡大してきております。このような状況下では、株式や債券等の伝統的な資産クラス以外の投資、つまり伝統的資産と相関性が低く、かつリスク分散として効果的なオルタナティブ資産やオルタナティブ戦略への投資ニーズが益々高まってくると考えられます。

当社グループは、これまでに良質かつ低コストのファンドを投資家向けに提供してまいりましたが、今後は、オルタナティブ資産およびオルタナティブ戦略等も併せて提供していくことで、投資家の皆様の最適な資産運用の実現に貢献していく所存です。

資産運用会社設立に際しては、金融庁のプログレスレポートにおいて期待される適切な評価・リスク管理体制の整備等を行った上で、監督官庁への投資運用業、投資助言・代理業への登録完了を前提とした開業、営業開始を目指してまいります。また、この基本合意についての法的拘束力ある最終契約の締結にむけ、今後協議及び交渉を行っていく予定です。なお、本件による当社の連結業績に与える影響は軽微と考えております。

KKR の会社概要

(2023 年 6 月末現在)

名称	KKR & Co. Inc.
本社	米国ニューヨーク州ニューヨーク
代表者	Joseph Y. Bae、Scott C. Nuttall（共同 CEO）
設立	1976 年
拠点数	24 拠点（17 カ国）
従業員数	約 2,500 名（投資プロフェッショナル 720 名を含む）（※1）
運用資産残高	5,190 億ドル（約 74.9 兆円）（※2）
共同投資額	280 億ドル（約 4.0 兆円）（※2）

（※1）KKR の拠点数や従業員数は、KKR の資産運用事業に関するものであり、
KKR が所有するその他事業の拠点数や従業員数は含まれていません。

（※2）1 米ドル=144.30 円で換算

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126